

しかしながら最大の課題はやはりJ-Debitの認知度をどう上げていくかのようです。同ホームセンター、ジャンボエンチョー富士店で担当者の方から「現在、J-Debitの利用は富士店で月間数十件ほどですが、J-Debitの仕組みは大変良いサービスだと思うので、その仕組み自体をどう広めていくかが今後の課題」というお話を伺いました。

大型ホームセンター店舗等におけるJ-Debitの利用拡大を図るには、J-Debitサービスのメリットを利用者に対しアピールする必要があることを今回の取材で強く感じました。今後の具体的な提案事項としては以下が考えられます。

- ① 店舗内にJ-Debitの利用促進を促すPOPの充実
- ② 店舗敷地内に設置しているCD/ATMコーナーにJ-Debitでお買い物をするメリットの告知
- ③ 協議会主催のキャンペーン・メリット告知を店舗イベント等により前面展開
- ④ 消費者からの質問等に対応できるように店内スタッフのJ-Debitサービスの教育の充実

J-Debitの発展性

「静岡県はもともとクレジットカードの利用率が低いんです」と池谷氏。「クレジット＝借金というイメージが根強く、なかなかクレジット決済も伸びていません」。エンチョーではクレジットカード会社とタイアップしてポイントを貯めるエンチョーカードを発行していますが、現金でのお支払いが圧倒的に多く、わざわざ店舗の入口に設置されているCD/ATMから現金をおろしてお買い物をする方もいるようです。お客様層としては比較的に年配の方が多いので「お財布にお金が無くても買い物ができる」「金融機関の口座を財布代わりに使える」「利用手数料が一切かからない」というJ-Debitの利便性をもっと知ることができれば、まだまだJ-Debitの利用率は伸びる可能性を秘めています。

また、ホームセンターには一般の方以外にも、工務店など、プロの方々も多く来店されます。金融機関の法人キャッシュカードや地元農家の方々が日ごろ利用している農協が発行するキャッシュカードも利用できることを認知してもらえれば、消費者の方々により安心してお買い物ができる環境を提供できます。また、キャッシュレス(J-Debit・クレジット)サービスはサービスカウンターのみで取り扱っている店舗が見受けられますが、今後の利用拡大には、レジでの直接対応の普及も期待されるようです。



企業概要

社名：株式会社エンチョー
所在地：静岡県富士市中央町2丁目12番12号
URL：<http://www.encho.co.jp/>

創業：1939年5月 年商：462億円
設立：1962年7月 従業員数：1,242名
資本金：28億7,425万円

[J-Debit質問箱]



外国人の方でも、
J-Debitを利用できますか？



外国人の方でも、当協議会に加入している金融機関の発行するキャッシュカードを持っていれば、デビットカードとして利用することができます。海外の金融機関で発行されたキャッシュカードはご利用になれません。外国人の方が国内で口座を開設し、キャッシュカードを入手する方法は、勤務先かご自宅近くの金融機関にお問い合わせ下さい。

[店頭POP販売窓口が変更になりました]

申込先： 有限会社リパティ
FAX:03-5958-5057
申込用紙:日本デビットカード推進協議会のホームページ会員向け販促物
申込書の項目にPOP注文書がございますので、ダウンロードしてご利用ください。
URL: <http://www.debitcard.gr.jp/>

日本デビットカード推進協議会では、会員向けサービスの一環として、標準的なPOPを用意させていただいております。

右図のPOPは、販売窓口が変わりましたのでご案内いたします。ご紹介するPOPをご利用いただくことで、デビットカードのシステムを広く浸透させるだけでなく、各参加加盟店の顧客サービスが充実したことを告知する良い機会となります。

引き続き、ご活用いただきたく、ご案内申し上げます。

● 販売窓口が変更になったPOP ●



① レジ横スタンド
A6サイズ・縦



③ ステッカー
A6サイズ・縦
(105×148mm)



⑤ ステッカー
カードサイズ・横
(85×55mm)



② バッチ
60φ・丸型ピン付き



④ ステッカー
A6サイズ・横
(148×105mm)



⑥ パンフレット
A4サイズ・三ツ折り
(210×99mm・三ツ折り時)

※③～⑤のステッカーは両面印刷で、自動扉 などガラス面にも貼ることが可能です。